
不老不死

温泉郷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

不老不死

【Nコード】

N4097T

【作者名】

温泉郷

【あらすじ】

ある国の王が死の間際に、不老不死となる薬を望んだ。

ある国で、王が病のために床に臥せていた。医術師の見立てでは、あと三日生きていられるかどうかだという。

王は今にも消え入りそうな声で、傍らにいる大臣にささやいた。

「余も長く生きた。他の者たちからすればもう充分生きたと言われるだろう。だが、こうなってくればくるほど、死にたくない。もつと生きていたいと思うものなのだ……。頼む大臣よ、不老不死の薬を見つけたし、余に飲ませてくれ」

大臣はこくりと頷くと、急いで国中にその旨を伝えた。

そして三日目に、一人の冒険者が不老不死の薬を持ち帰った。

大臣は喜び、すぐに王のところへと向かうと、床に両膝をつけた。

「王よ、これが不老不死の薬です。さあ、お飲みください……！」

王は何とかまぶたを持ち上げると、「早く」と唇を動かした。もう手足を動かすことも不可能だった。

大臣は慌てて王の口を開けると、不老不死の薬を流し込んだ。

王は不老不死となった。いつまでもいつまでも、決して死ぬことなくそのまま生き続けたと云う。

「こんなはずでは……」

王はもはや誰にも聞こえぬ程の声で、小さく呟いた。

昔々のお話。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4097t/>

不老不死

2011年10月5日20時51分発行